



ポールと両親は教会に向かって歩いてい  
ました。ポールはワクワクしていま  
した。今日は初等協会プログラムの日な  
ので！ 子供たちはみんな教会で歌を歌い、せ  
いくを分かち合うことになっています。ポ  
ールがプログラムに参加するのは、これが初め  
てでした。

教会に着き、ポールは宣教師たちと会いま  
した。福音についてポールの家族を教えてく  
れている人たちです。

「じゅんぴはいい？」ウォーカー姉妹は言  
いました。

ポールはうなずきました。ポールはある聖  
句を学んでいました。イエスはわたしたちに  
すべての人を愛するよう言っておられるとい  
う内容でした。ポールはそのせいを分かち  
合う準備ができていました！

全員が中に入り、すわりました。間もなくし  
て、子供たちは礼拝堂の前に出てくるように  
とビショップが言いました。ポールは新しい  
友達と一緒に立ちました。ポールは大きな笑  
みをうかべました。お母さんとお父さんもほ  
ほえんでいるのが見えました。それから音楽  
が始まりました。

「もし主がわたしのそばにいたら、……」  
ポールは一語一語をはっきりと歌うよう努力  
しました。イエスが聞いておられることを想



像しました。  
歌の途中で、ポールはだれかが礼拝堂の後ろ  
のドアを開けるのが見えました。マークという  
名前の男の子が入ってきました。家族と一緒に  
です。マークはほかの子供たちが歌っているの  
を見ました。マークは悲しそうに見えました。

おくれて来たから悲しいのかもしれない、と  
ポールは思いました。マークは壇上に向かって  
ゆっくりと歩き始めました。

ポールは自分が初めて初等協会に来たときの  
ことを思い出しました。ほかの人たちがとなり  
にすわり、親切にしてくれてうれしく思いました。

ポールはマークを助けたいと思いました。

ポールはこちらに来るようにと、マークを手ま  
ねきました。「こっちにおいで！」ポールは声  
を出さず、口だけを動かして言いました。

マークはすぐに壇上まで歩いてきました。  
ポールはマークのために場所を空けました。

ポールはマークをだきしめました。「来てく  
れてありがとう」とポールはささやきました。

マークはポールに、にっこりとほほえみました。  
間もなくして歌が終わりました。ポールと  
マークは一緒にすわりました。友達が愛され、

かんげいされていると感じられるよう助けるこ  
とができて、ポールはうれしくなりました。●

「主がそばにいたら」は「2018年度 分かち合いの時間の概要 わたしは神の子です」で見つけられます。

# 初等協会 プログラム での親切

教会機関誌

マリッサ・ウィディソン

(ほんとうにあったお話をもとに書かれました)